

持続可能な町を目指して Vol.4

今回は「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略【2020改訂版】」で示した4つの基本目標のうち、基本目標2「活気にあふれ、賑わいを実感できるしごとづくり」に掲げる施策事業を紹介します。

小野町まち・ひと・しごと 創生総合戦略【2020改訂版】

【基本目標1】

結婚・出産・子育て・教育に楽しみやうれしさを実感できるまちづくり

【基本目標2】

活気にあふれ、賑わいを実感できるしごとづくり

【基本目標3】

新しいひとの流れづくり

【基本目標4】

未来に向かって安全で安心して生活できるまちづくり



【基本目標3～4】は次号以降、内容を掲載します。

小野町人口ビジョン

中長期展望 (令和42年を視野)

(1)人口の分析

- ・本町の総人口は、昭和30年から減少を続けてきましたが、今後は、これまでも増して急速に減少する見込みです。
- ・転出は横ばいですが、転入が減少傾向にあり、社会減が進んでいます。
- ・少子高齢化により自然減が進んでいます。
- ・出生率は、全国や福島県平均より高くなっていますが減少傾向です。

(2)人口の将来展望

- ・急速な人口の減少は、本町の姿を大きく変え、町民の生活が混乱することも考えられることから、減少の幅を緩やかにする必要があります。

- ・令和42年の人口
「6,554人以上」

平成27年度に策定した人口ビジョンにおいて、社人研による人口推計より約2,100人程度減少を抑制することを目指していました。今回新たに試算を行ったところ、前回同様の人口推移の傾向が見られたため、引き続き前回と同じ目標を目指します。

新たな視点で人口対策

町職員による人口対策に関する推進会議、プロジェクトチーム設置

人口減少に歯止めをかける有効な施策の実現に向け、新たに、役場庁内の各職務階層による検討組織を立ち上げました。

その一つ目として、人口対策庁内推進会議を設置し、人口対策に関する施策の更なる推進のほか、総合戦略に掲げられた事業の進行管理、検証などにより次年度に向けた事業の見直しなどを進めます。

二つ目として、若手職員の公募などによる人口対策庁内プロジェクトチームを設置しました。プロジェクトチームでは、職員の能力を発揮する機会を設け、職員が新しい発想のもと知恵と工夫を生かし自ら取り組みたい施策などの掘り起こしを行います。

今後も町では、多様化する個人の価値観や生活様式の変化も捉えながら「令和」という新しい時代、人口減少や少子高齢化が進行する中であっても、直面する課題を克服し、住民に最も身近な基礎自



プロジェクトチーム会議の様子

治体、そして持続可能な町として発展し続けるため行政としてさまざまな取り組みを進めます。

また行政だけでは限界がありますので、住民の皆さんとともにまちづくりに取り組みます。